

令和6年度
食育の推進に関して
講じた施策について

岐 阜 県

令和6年度 食育の推進に関して講じた施策について

岐阜県食育基本条例（平成17年岐阜県条例第93号）第22条の規定により、食育の推進に関して講じた施策について報告します。

令和7年9月18日報告

岐阜県知事 江崎 禎英

はじめに

岐阜県食育基本条例（平成 17 年 12 月条例第 93 号）第 22 条に規定する県が食育の推進に関して講じた施策に関する報告です。

この内容は、第 4 次岐阜県食育推進基本計画（令和 6 年 3 月策定）に基づき、令和 6 年度中に食育の推進に関して講じた施策について、各項目を整理しています。

第1章 食育の推進に関する施策の基本的な方針

1 食育推進施策の基本的枠組み	1
1) 第 4 次岐阜県食育推進基本計画（令和 6 年度～令和 11 年度）	
2) 食育に関する施策の推進体制	
3) 県民・関係団体と協働して進める食育推進体制	
2 令和6年度の食育推進基本計画の目標と現状	2
1) 目標と指標項目の進捗状況について	
3 食育推進運動の展開	4
1) 食育月間の取組み	
2) 食育に関する施策等の普及啓発	
3) 食育推進ボランティアの把握	
4) 新たに取り組まれた食育実践活動	
5) 市町村の食育推進計画の策定状況	

第2章 令和6年度の取組みについて

1 家庭、職場及び地域社会における食育の推進	7
1) 健康寿命の延伸につながる取組み	
2) 生涯を通じた多様な暮らしを支える取組み	
3) 望ましい食習慣や知識の周到に資する共食の推進	
4) 災害時に備えた取組みの推進	
2 学校、保育所、医療機関等における食育の推進	13
1) 学校における次世代を担うこどもへの取組みの充実	
2) 楽しく食べる体験から始める保育所・幼稚園等の取組み	
3) 医療機関等を通じた取組みの推進	
3 生産者と消費者との交流の促進	16
1) 農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供	
2) 食の循環や環境を意識した取組みの推進	
4 農林水産業の活性化及び農林水産業者への支援	20
1) 生産基盤の整備	
2) 農林事業者の経営基盤の強化	
5 地産地消の促進	21
1) 学校給食における県産食材の利用促進	
2) 食品関連事業者等との連携強化	
3) 朝市・直売所の活動支援	
6 食文化の継承のための支援	23
1) 地域の多様な食文化の継承につながる取組みの推進	
2) 学校給食等での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用	
7 食育の推進に関する普及啓発	25
1) 積極的な情報発信	
2) リスクコミュニケーションの推進	
3) 学習会やイベント等を通じた取組みの推進	
4) 活動できる人材の育成	
8 県民の意見の反映	29
1) 推進体制の整備	

第3章 食農教育

第4章 各課の食育の取組

- 1 関係課
- 2 関係団体

第1章 食育の推進に関する施策の基本的な方針

1 食育推進施策の基本的枠組み

「食育」とは、「食」を通して生きる力を育むことであり、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むことは、県民にとって最も大切な願いの一つです。

県では、食育基本法(平成 17 年 6 月公布)及び岐阜県食育基本条例(平成 17 年 12 月制定、平成 18 年 4 月施行)に基づき、岐阜県食育推進基本計画「第 1 次(平成 19 年度～平成 23 年度)、第 2 次(平成 24 年度～平成 28 年度)、第 3 次(平成 29 年度～令和 5 年度)、第 4 次(令和 6 年度～11 年度)」を策定し、子育て支援や青少年の健全育成などの総合的な視点から食育に取り組んでいます。

1) 第4次岐阜県食育推進基本計画(令和6年度～令和 11 年度)

(1)目的:心身の健康の増進と豊かな人間形成の実現

基本理念のもと、全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のため、健康寿命の延伸や生活習慣病の発症・重症化予防に資する食育を推進します。

(2)重点世代:次世代を担うこどもと食生活の課題が多い青年期

基礎的な食習慣を身につけ、食の基本的な知識や食行動を習得する時期であるこどもたちと朝食欠食の割合が依然として高いなど他の年代に比べ課題が多く、親として次世代(こども)に食育をつなぐ大切な担い手でもある 20 歳代及び 30 歳代の青年期を重点世代とします。

(3)3つの基本方針

①多様な暮らしを支え、生涯を通じた心身の健康を守る食育の推進

食に起因する生活習慣病の発症・重症化予防や健康寿命の延伸を実現するため、妊産婦や乳幼児から高齢者に至るまでのライフステージやライフスタイル、多様な暮らしに対応した、生涯を通じて切れ目のない食育を推進します。

②社会・環境・文化の視点を踏まえた持続可能な食を支える食育の推進

農林漁業体験の推進、生産者等や消費者との交流促進、地産地消の推進等、食の循環を担う多様な主体のつながりを拡大し強化する取組みとともに、食品ロス削減に向けた消費活動の実践など、環境に配慮した取組みや郷土料理、伝統料理、食事の作法等、伝統的かつ多様な地域の食文化を次世代へと継承するための取組みを推進します。

③食環境づくりの推進と県民運動の展開

人々が特に意識しなくても健康的な食生活を送れるよう、人々の食品のアクセスと情報のアクセスを両方整備する「食環境づくり」を推進するとともに、関係機関と連携しながら、県民の参加と協働による「県民運動」として食育を推進します。

(4)施策の基本となる事項

岐阜県食育基本条例第 12 条から第 19 条の施策の基本となる事項に基づき、「食育推進に関する 10 の目標」と指標項目を設定し、取組みを展開します。

【食育推進に関する10の目標】

- 1 朝食を欠食する県民を減らす
- 2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」を増やす
- 3 栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民を増やす

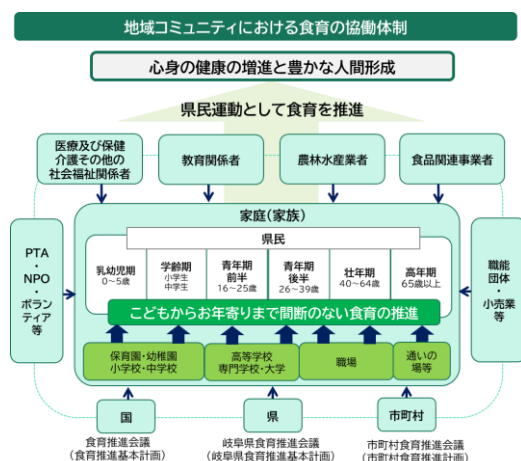
- 4 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持等に気をつけた食生活を実践する県民を増やす
- 5 食育に取り組む企業を増やす
- 6 地場産物を活用した取組みを増やす
- 7 農林漁業体験を経験した県民を増やす
- 8 食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民を増やす
- 9 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている県民を増やす
- 10 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する県民を増やす

2) 食育に関する施策の推進体制

- 岐阜県食育推進会議：県民と協働し、食育の推進方策の検討、関係機関の連携のため平成18年5月に「岐阜県食育推進会議」を設置。関係団体等の代表者20名で構成。
- 圏域食育推進会議：県下5圏域に「食育推進会議」を設置し、圏域の食育を関係団体等と協働で推進。
- 岐阜県食育推進連絡会議：食育に関する施策の企画立案、総合調整、進行管理のため、平成18年5月に庁内に「岐阜県食育推進連絡会議」を設置。4部と教育委員会の27名で構成。

3) 県民・関係団体と協働して進める食育推進体制

県は、県民、教育関係者、農林水産業者、食品関連事業者等関係団体等の自発的意思を尊重するとともに、すべての関係者の連携と相互理解の下、食育を推進するために総合的な施策を策定し実施します。



2 令和6年度の食育推進基本計画の目標と現状

1) 目標と指標項目の進捗状況について

第4次岐阜県食育推進基本計画の施策の成果や達成度を確認するため、進捗状況を評価しました。

目標達成状況の判定	◎	令和6年度に目標値を達成した場合
	○	令和6年度に計画策定時より前進した場合
	×	令和6年度に計画策定時より後退した場合
	△	令和6年度に計画策定時より変化がない場合
	—	令和6年度に把握できていない場合

目 標							
指標 番号	指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
1 朝食を欠食する県民を減らす							
①	朝食を欠食する者の割合(3歳児)	4.1%	4.6%	R6	×	0%	保健医療課
②	朝食を欠食する者の割合(小学生)	1.8%	2.1%	R6	×	0%	体育健康課
③	朝食を欠食する者の割合(中学生)	7.9%	6.6%	R6	○	0%	
④	朝食を欠食する者の割合(高校生)	20.0%(R3)	25.0%	R6	×	15%以下	保健医療課
⑤	朝食を欠食する者の割合(20・30歳代)	24.7%	24.7%	R4	—	15%以下	
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」を増やす							
⑥	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数(平日)(小学生)	8.3回	8.2回	R6	×	9回	体育健康課
⑦	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数(平日)(中学生)	7.0回	7.2回	R6	○	8回	
⑧	朝食を家族とともに食べる者の割合(高校生)	49.3%(R3)	54.0%	R6	○	60%以上	保健医療課
⑨	夕食を家族とともに食べる者の割合(高校生)	88.6%(R3)	87.4%	R6	×	90%以上	
3 栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民を増やす							
⑩	主食・主菜・副菜を基本にバランスのとれた食生活を送ることができる者(1日2食以上)の割合	70.7%	70.7%	R4	—	80.0%	保健医療課
⑪	1日当たりの食塩摂取量	9.1g	9.1g	R4	—	7g未満	
⑫	1日当たりの野菜摂取量	264g	264g	R4	—	350g以上	
4 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持等に気をつけた食生活を実践する県民を増やす							
⑬	20歳～60歳代男性の肥満者の割合(BMI25以上)	25.9%	25.9%	R4	—	25%未満	保健医療課
⑭	40歳～60歳代女性の肥満者の割合(BMI25以上)	17.0%	17.0%	R4	—	15%未満	
⑮	20歳～30歳代女性のやせの割合(BMI18.5未満)	25.2%	25.2%	R4	—	15%未満	
⑯	65歳以上の低栄養傾向者の割合(BMI20以下)	23.2%	23.2%	R4	—	22%未満	
5 食育に取組む企業を増やす							
⑰	健康経営宣言企業等に対する食育支援数	203社(R5)	328企業	R6	○	500社以上	保健医療課
6 地場産物を活用した取組みを増やす							
⑱	地産地消率(※)	40.3%	40.8%	R6	○	52%	農産物流通課
⑲	学校給食における地場産物の使用割合(金額ベース)(※)	60.3%	58.1%	R6	×	66%	体育健康課
7 農林漁業体験を経験した県民を増やす							
⑳	農林漁業体験者数(※)	178千人	267千人	R5	○	300千人	農村振興課
8 食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民を増やす							
㉑	食品ロス削減に取組む県民の割合	78%(R3)	78%	R3	—	97%	県民生活課
9 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている県民を増やす							
㉒	食べ方や作法などを伝承している者の割合	85.8%	81.9%	R5	×	90%	保健医療課
㉓	郷土料理や伝統食(行事食)など伝承している者の割合	52.0%	51.3%	R5	×	60%	
10 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する県民を増やす							
㉔	リスクコミュニケーション事業の参加者数	1,029人	1,459人	R6	◎	毎年1,000人	生活衛生課
㉕	食品の安全に関する出前講座における参加者の理解度	94%	98%	R6	◎	90%	

※ 暫定値:次期「ぎふ農業・農村基本計画(令和8年度～)」により目標値の見直しを実施

目標達成状況の判定	◎	令和6年度に目標達成をした場合	△	令和6年度に計画策定時と変化がない場合	×	令和6年度に計画策定時より後退した場合
	○	令和6年度に計画策定時より前進した場合	—	令和6年度に把握できていない場合		

3 食育推進運動の展開

1) 食育月間の取組

食育を推進するための活動については、「食育基本法」及び「第4次食育推進基本計画」（令和3年3月食育推進会議決定）等を踏まえ、多様な主体の参加と協力を得て、国民運動として全国において展開することが重要であるとされており、毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」とすることが定められています。食育月間では、各種広報媒体等による啓発活動を重点的に実施しました。

また、毎月第3日曜日は「家庭の日」であり、家庭、学校、保育所等に対しては、食育実践の契機とするように呼びかけを行いました。

2) 食育に関する施策等の普及啓発

食育についての理解を深めてもらうため、県公式ホームページや食育啓発リーフレット「ミナモの食育通信」等により情報提供を行いました。

3) 食育推進ボランティアの把握

食育活動を実践する食育推進ボランティアの数を把握するとともに、地域での活動が円滑に実施できるよう研修会を開催するなどの支援を行いました。

食育推進ボランティア：食に関して豊かな知識や経験を有し、地域で食育に関する実践的なボランティア活動を展開している団体

4) 新たに取り組まれた食育実践活動

令和6年度の新規事業として、以下のとおり食育実践活動の支援、普及啓発を推進しました。

施策	事業名	概要	実施主体
1 家庭、職場及び地域社会における食育	減塩の食品案内イベント	自治体の要請により、スーパーマーケットバローないしVドラッグにて、減塩食品の案内ブースを設けた。	各市町村、バローグループ各社
	栄養ワンダーへの参加	日本栄養士会が主催する栄養ワンダーへ参加。乳製品と果物を試食配布し、カルシウムやビタミンなどの栄養素摂取の重要性を啓発した。	岐阜大学
	減塩対策推進事業	生活習慣病(NCDs)の発症予防と重症化予防のために、「しっかり減塩たっぷり野菜」をキーワードとした食塩摂取量の減少及び野菜摂取量増加に向け協定企業等と事業を協働し新たな食環境づくりを推進した。	保健医療課
	野菜丸ごと使い切りレシピ動画の作成と岐阜県公式SNSを活用した配信	ひとり暮らし世帯等世帯人数が少ない場合で無駄なく野菜を活用できるよう野菜丸ごと使い切りレシピ動画を作成した。 SNS等を閲覧する若い世代に啓発するため、作成した動画は、岐阜県公式SNS(Youtube、インスタグラム)で配信した。	保健医療課(委託先) 岐阜県食生活改善推進員協議会
2 学校、保育所、医療機関等における食育	持続可能な食を支える検討会の開催	農林漁業体験や地産地消の推進、野菜摂取増加に向け地域関係者と協働した取り組みを推進した。	保健医療課・保健所

施策	事業名	概要	実施主体
3生産者と消費者との交流促進	フードドライブ ポストの設置	パローグループ店舗に、フードドライブポストを設置し、お客様のご家庭で消費できない食品を寄付頂く。受け取り団体が困窮家庭や子ども食堂で利用した。	パローホールディングス
	地域産物を活用した講習会	ラッキョの上手な漬け方・うめの上手な漬け方について講習会を実施した。	岐阜市中央卸売市場
6食文化継承のための支援	歳時記イベントを通じた企業連携	節分イベントにて、農林中央金庫、タマノイ酢と60名のこども達へ、「豆まき」「太巻き作り」「県産木の割りばしプレゼント」「食育アドバイザーとFC 岐阜選手との対談」を実施した。	パローホールディングス
7食育の推進に関する普及啓発	テレビ・YouTube、雑誌を活用した地産地消の啓発	岐阜県JAグループが一体となった広報活動を展開することにより、県内を中心とした消費者に岐阜県産農畜産物の魅力を紹介し、岐阜県内の農産物直売所や地産地消に関するJAグループの取り組み等を効果的に発信した。	JA岐阜中央会
	実態調査を活用した普及啓発	高校生の食生活等実態調査・3歳児(保護者)食生活等実態調査結果を活用した啓発を実施した。 <高校生の食生活等実態調査> 高校生が利用する岐阜バス・名阪近鉄バスの車内にポスター掲示及びデジタルサイネージ放映を実施 <3歳児(保護者)食生活等実態調査> 3歳児健診受診者に「スピードアップ朝食」について啓発を実施	保健医療課

5) 市町村の食育推進計画の作成状況

令和7年3月末現在、県内全市町村において食育推進計画が策定され、計画に基づいた食育が展開されています。

(令和7年3月末日時点)

	市町村名	計画の名称	現行計画の対象期間	健康増進計画に食育計画を組み込んだもの
1	岐阜市	第4次岐阜市食育推進計画	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度	
2	羽島市	元気はしま21(羽島市第3期健康増進計画)	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
3	各務原市	第4次かがみかはら元気プラン21	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度	○
4	山県市	健康山県21 第3次山県市健康増進計画	令和 3 年度 ~ 令和 8 年度	○
5	本巣市	健康増進計画(第三次)	令和 5 年度 ~ 令和 14 年度	○
6	瑞穂市	健康みずほ21 瑞穂市第3次健康増進計画	令和 3 年度 ~ 令和 8 年度	○
7	岐南町	第2次すこやかライフぎなん	平成 26 年度 ~ 令和 6 年度	○
8	笠松町	第 2 期笠松町健康増進計画	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
9	北方町	北方町健康増進計画(第3次)	令和 3 年度 ~ 令和 8 年度	○
10	大垣市	大垣市第4次食育推進計画	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度	
11	海津市	第2次かいづ健康づくりプラン	平成 30 年度 ~ 令和 6 年度	○
12	養老町	第3次健康ようろう21	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
13	垂井町	第3次健康日本21たるい計画	令和 3 年度 ~ 令和 8 年度	○
14	関ヶ原町	第2次ヘルスプランせきがはら	平成 30 年度 ~ 令和 6 年度	○
15	神戸町	第4次神戸町すこやかプラン21	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
16	輪之内町	わのうち健康プラン	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度	○
17	安八町	健康あんばち21(第3次計画)	令和 1 年度 ~ 令和 10 年度	○
18	揖斐川町	健康いびがわ21(第3次)	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
19	大野町	大野町健康増進計画(第3次)	平成 27 年度 ~ 令和 6 年度	○
20	池田町	第2次いけだいきいき健康プラン21	令和 2 年度 ~ 令和 11 年度	○
21	関市	第2次関市食育推進基本計画	平成 29 年度 ~ 令和 6 年度	○
22	美濃市	第3次わくわく元気プラン美濃21	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
23	郡上市	第3次郡上市食育推進基本計画	令和 4 年度 ~ 令和 7 年度	
24	美濃加茂市	第4期美濃加茂市健康増進計画	令和 6 年度 ~ 令和 11 年度	○
25	可児市	可児市健康づくり計画-第3次可児市健康増進計画・第3次可児市食育推進計画-	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
26	坂祝町	坂祝町地域福祉計画	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	○
27	富加町	第2期富加町健康増進計画、第2期富加町食育推進計画、第1期富加町自殺対策計画	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
28	川辺町	川辺町第3次健康増進計画	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
29	七宗町	七宗町健康増進計画(第4期)	令和 6 年度 ~ 令和 11 年度	○
30	八百津町	やおつ・まるごと はつらつ計画	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
31	白川町	白川町健康づくり計画	平成 28 年度 ~ 令和 7 年度	○
32	東白川村	ヘルスプラン21東白川村	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	○
33	御嵩町	御嵩町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画	令和 1 年度 ~ 令和 6 年度	○
34	多治見市	第3次たじみ健康ハッピープラン	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
35	瑞浪市	みずなみ健康21(第3次)	令和 6 年度 ~ 令和 11 年度	○
36	土岐市	健康とき21(第2次)	平成 28 年度 ~ 令和 7 年度	○
37	恵那市	恵那市いきいきヘルシープラン3	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
38	中津川市	健康なかつがわ21計画(第3次)	令和 6 年度 ~ 令和 17 年度	○
39	高山市	高山市食育推進計画(第3次)	平成 29 年度 ~ 令和 6 年度	
40	飛騨市	健康飛騨市21(第三次)	令和 6 年度 ~ 令和 11 年度	○
41	下呂市	第三次下呂市食育推進計画	平成 30 年度 ~ 令和 6 年度	
42	白川村	ヘルスプランしらかわ21(第2次)	平成 27 年度 ~ 令和 6 年度	○

第2章 令和6年度の取組みについて

1 家庭、職場及び地域社会における食育の推進

<目標と指標項目>

	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
1 朝食を欠食する県民を減らす						
朝食を欠食する者の割合(3歳児)	4.1%	4.3%	R5	×	0%	保健医療課
朝食を欠食する者の割合(20・30歳代)	24.7%	24.7%	R4	—	15%以下	
3 栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民を増やす						
主食・主菜・副菜を基本にバランスのとれた食生活を送ることができる者(1日2食以上)の割合	70.7%	70.7%	R4	—	80.0%	保健医療課
1日当たりの食塩摂取量	9.1g	9.1g	R4	—	7g未満	
1日当たりの野菜摂取量	264g	264g	R4	—	350g以上	
4 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持等に気をつけた食生活を実践する県民を増やす						
20歳～60歳代男性の肥満者の割合(BMI25以上)	25.9%	25.9%	R4	—	25%未満	保健医療課
40歳～60歳代女性の肥満者の割合(BMI25以上)	17.0%	17.0%	R4	—	15%未満	
20歳～30歳代女性のやせの割合(BMI18.5未満)	25.2%	25.2%	R4	—	15%未満	
65歳以上の低栄養傾向者の割合(BMI20以下)	23.2%	23.2%	R4	—	22%未満	
5 食育に取り組む企業を増やす						
健康経営宣言企業等に対する食育支援数	203社(R5)	328企業	R6	○	500社以上	保健医療課

<今後の取組み>

健全な食生活の実施や共食の推進のためには、従来の家庭を中心とした食育に加え、個人がそれぞれの生活実態や家庭の特性等に応じた食育に取り組めるよう、職場や地域等個人を取り巻く社会全体が食育を推進する環境づくりが重要です。健康経営企業等に食育実践を支援する取組みや個人一人一人が、食育の意義や必要性を理解し、主体的に食育を実践できるように、こどもから高齢期までの継続した食育支援を今後も実施していきます。

1) 健康寿命の延伸につながる取組み

健康寿命の延伸につなげるため、生活習慣病の発症・重症化予防や、やせや低栄養等の予防、口腔の健康づくりを通じた生活機能の維持・向上に資する取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●8020 運動推進特別事業(医療福祉連携推進課) 1回 250人参加

歯・口腔の機能維持・管理を専門的に実施できる歯科医療関係者のための研修会をWEBで実施し、約250人が参加した。

●「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクト(保健医療課)184回 4,877人参加

産官学等で構成された会議(1回)を開催し、野菜摂取増加に向けた取組として実施していること等を共有した。協定企業等と連携し、インセンティブを活用した取組やたっぷり野菜が摂取できるメニュー提供を行い、自然に健康になれる食環境を整備した。

ひとり暮らし世帯の若い世代へ野菜を摂取するコツを伝え、無駄なく効率的に野菜を摂取できるよう働きかけるため、野菜丸ごと使い切りレシピ動画(なす、キャベツの2種)を作成し、岐阜県公式SNSで配信した。(岐阜県食生活改善推進員協議会委託)

●減塩対策推進事業(保健医療課)18 施設実施

産官学等で構成された会議(1 回)を開催し、食塩摂取量減少に向けた取組として実施していること等を共有した。希望する給食施設等へ塩分測定器を貸出しすることで施設の食塩摂取に対する意識改善に一定の効果が見られた。

●薬食同源サロンの配置(薬務水道課)

薬食同源アドバイザー106 名に対し、必要な知識を取得するための専門講習会の講師を務めた。

●健康食品相談窓口の設置(薬務水道課)

相談窓口を設置し、健康食品による健康被害の防止等を図ることで、県民が健康に暮らせる環境を整備した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県医師会	世界糖尿病デー記念事業 ①健康食メニュー企画 ②世界糖尿病デー記念セミナーの開催	1	97
岐阜県栄養士会	生活習慣病対策事業	23	67
岐阜県食生活改善推進員協議会	野菜ファースト推進事業	463	9,960
	減塩普及啓発	7,440	572,197
	野菜丸ごと使い切りレシピ動画作成	2 種類	-
	生涯骨太クッキング	22	515
	男性のための料理教室	2	15
全岐阜県生活協同組合連合会	減塩について知ろう！食べよう！	1	15
バローホールディングス	野菜ファーストプロジェクト	1	-
	減塩ベント	2	-
	健康イベント	5	-

2) 生涯を通じた多様な暮らしを支える取組み**ア 妊産婦や乳幼児、こどもに対する取組みの推進**

基本的な生活習慣づくりを、家庭の問題として見過ごすことなく、社会全体の問題として捉え、こどもとその保護者が一緒に生活習慣づくりの意識を高め、行動するための取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●3歳児(保護者)食生活等実態調査(保健医療課・保健所・市町村)回答数 10,469 人

食育の評価や効果的な取組み等のための基礎資料とするため、3 歳児健診時にこどもの朝食の摂食状況等を中心とした食生活等の実態を調査し、公表した。

●保育士等キャリアアップ研修(子育て支援課)4 回 433 人参加

食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力の養成、適切にアレルギー対応を行うことができる力の養成、他の保育士等に適切な助言・指導をするための実践的な能力の習得に資する研修会を開催した。

●子ども食堂・子ども宅食運営支援事業(子ども家庭課)13 市町実施

支援を必要とする子どもが健やかに育成される環境の整備のため、子ども食堂、子ども宅食を実施または支援する13市町へ補助金を交付した。

●母子保健事業(保健所・市町村)

妊産婦の望ましい食生活の実現に向けて、各種指針やガイドライン等を活用した栄養指導を実施した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	親子クッキング	1	13
	離乳食交流	2	7

イ 青年期における取組みの推進

高校生に対しては、小学校、中学校で学んできた食に関する正しい知識に基づいた、栄養バランスの取れた食事や規則正しい食生活といった望ましい食習慣の実践に加え、自然の恩恵・勤労などへの感謝や、食文化などについても理解することができるよう取り組みました。

<関係課実施状況>

●高校生等食生活実態調査(保健医療課)回答数 2,341 人

第4次計画の評価等への活用と目標達成に向けた対策を検討するため、県内県立高等学校 61 校の2年生を対象に高校生の食生活等実態調査を実施した。その結果から、岐阜バス車内に置いてポスター掲示等による啓発を実施した。

●大学等と協働した食育普及活動(保健医療課・保健所) 7回 581 人参加

第4次食育計画の重点世代である「こどもと青年期」に直接指導することができる場であり、体験を通じて普段の食事の振り返りをする機会を提供した。

●GIFU食のマイスタープロジェクト事業(体育健康課・県立高等学校)12校 15 講座 1,688 人参加

「高校生食育リーダー」：外部の食の専門家を講師として高校へ派遣し、よりよい食生活についての理解を深め、ライフスタイルに応じた健全な食生活を切り拓くことができる実践力の育成を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県栄養士会	青年期層栄養アドバイス	5	173
	岐阜大学健康診断における食生活講座	10	1,415
全岐阜県生活協同組合連合会	東海学院大学学園祭 ベジチェック	1	53
岐阜県大学保健管理研究会	大学生の健康啓発冊子作成	1	5,000
	大学生対象の食生活改善講義	2	1,200
	大学生の食育強化	1	20
	定期健康診断時の全員栄養アドバイスの実施	10 日間	1,500
	栄養ワンダーへの参加	1	500

ウ 職場における従業員等の健康に配慮した取組みの推進

企業の経営関係者や従業員の健康管理部門、給食関係者、健康保険組合、労働組合等の関係者の理解と協働により、職場給食で栄養バランスの取れたメニューや健康に配慮したメニューを提供したり、従業員の食生活の改善につながる啓発活動を行ったりするなど、職場を通じた青壮年期の食環境づくりや健全な食生活を促す取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●企業内家庭教育研修(県民生活課)

企業・事業所で開催される家庭教育研修で、食育をテーマとした学習の機会を提供し、家庭、職場及び地域社会において、健全な食生活が実現できるように支援した。

●企業のための食育支援事業(保健医療課・保健所)35回 4,052人参加(委託含む)

食育講座を開催し、その中で SAT システムを活用した体験型講座を行い、個人の栄養状態や食生活を分析評価し、参加者の栄養健康リテラシーを身に付けるきっかけづくりを行った。

●事業所における給食施設指導(保健医療課・保健所)61回 3,943人参加

職場給食で栄養素等の摂取目標量に見合う食事が提供されるよう給食施設を指導した。また食育 SAT システムを用いたイベントの開催や卓上メモによる情報発信により、喫食者の食生活の改善につながる啓発活動を行った。

●健康経営宣言企業等における食育の推進(保健医療課・保健所)6回 794人参加

県の健康増進施策を推進するための自発的な活動や普及啓発を行う「ぎふ健康づくり応援団体」と協働した取組みの実施や「清流の国ぎふ健康経営宣言企業」で継続した食育活動が実施されるよう支援を実施した。

●健康経営宣言企業等における食育の推進(保健所)328社

「清流の国ぎふ健康経営宣言企業」に定期的に従業員の食と健康に関する情報「ミナモの食卓メモ」を配布し普及啓発を実施した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県栄養士会	健康づくりアドバイザー無料派遣事業	26	437
	企業のための食育支援事業(県委託)	14	335
岐阜県食生活改善推進員協議会	全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(若者・働き盛り)	26	437

エ 高齢者に関わる取組みの推進

高齢者自身が十分な栄養を摂ることの必要性を知り、食生活の改善につながるよう啓発に努めるとともに、関係者へ低栄養や運動不足などに起因するフレイル(虚弱)や、オーラルフレイル(口腔の虚弱)に関する知識を周知し、これらの健康への影響等について啓発することで予防を促しました。

今後増大する見込みである慢性期の医療ニーズの受け皿として役割を期待されている在宅医療においては、在宅療養者に対する食事支援等の栄養ケアサービスの需要に対応できるよう、栄養ケア・ステーション等の活用を含めた地域の体制整備やそれを担う管理栄養士の人材の確保や育成に努めました。

<関係課実施状況>

●高齢者の低栄養対策事業(保健医療課・保健所)6回 169人参加

高齢期の適切な栄養は、身体機能を維持し生活機能の自立を確保する上で重要であることから、低栄養傾向や低栄養の高齢者の実態把握及びその背景の分析等を進め、仕組みづくりを行った。

●地域高齢者のフレイル予防事業(保健医療課)

①高齢者の低栄養傾向や低栄養の状況の実態等を集約整理し、高齢者の身体及び生活機能の維持・低下の防止に資する効果的な栄養・食生活支援の取組事例の収集を行い、市町村に還元することや、栄養士会等関係団体と連携し、地域のニーズに応じたマネジメントを行った。5回 113人参加

②地域高齢者を対象とした栄養講座を開催し、低栄養予防等を啓発した。32回 577人参加

③栄養士等人材研修会を開催し、多職種協働による低栄養予防について情報共有を実施した。

10回 270人参加

●介護予防従事者研修会(高齢福祉課)1回 129人参加

介護予防推進のため、市町村職員、地域包括支援センター職員、施設職員等を対象に、運動器の機能向上・口腔機能向上と複合研修として栄養改善に関する研修会を実施した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県栄養士会	地域高齢者のフレイル予防事業(県委託)	32	577
	ハツラツシニア栄養講座・フレイル予防教室	16	226
	在宅栄養指導及び通所サービス事業	29	-
岐阜県食生活改善推進員協議会	やさしい介護食講習会	1	28
	全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(高齢者)	49	517

3) 望ましい食習慣や知識の習得に資する共食の推進

家族や友人など誰かと一緒に食事をする共食は、食の楽しさを共有でき、また食を介したコミュニケーションの場となります。地域や所属するコミュニティ(職場等を含む)等を通じて様々な人と共食する機会を増やすことで、生涯を通して食に関する理解や関心を深められるような取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●**食育月間・食育の日の普及と効果的な啓発の実施(保健医療課・保健所・市町村)**食育月間 65 事例、月間以外 60 事例、食育の日 42 事例

毎年6月を「食育月間」と定め、関係者の緊密な連携・協働を図りつつ、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施することにより、国民の食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促し、その一層の充実と定着を図った。

●**家庭の日の啓発(子ども・女性政策課)**189校3,096名応募

岐阜県青少年育成県民会議において、県内の小・中学生を対象に、「家庭の日」啓発図画・ポスターの募集を行い、入賞作品の展示及び入賞者の表彰を実施した。また、「家庭の日」の啓発活動の一環として、家族ぐるみや地域・団体で取り組んでいる活動の取組発表を行った。

●**家庭・地域への食育推進啓発活動(体育健康課・公立小中学校)**

栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修を実施し、家庭での共食の機会の増加の促進など食育の取組の啓発を行うとともに、朝食・夕食調査を実施し、その結果について情報提供した。

●**ぎふ食と健康応援店普及と登録推進(生活衛生課)**

飲食店・コンビニエンスストア等との協働により、メニューに栄養成分表示を行ったり、健康情報を提供し県民の健康増進を推進した。

●**食品産業関係者に対する普及啓発(生活衛生課)**43回200人

食品衛生協会等関係団体に対して、ぎふ食と健康応援店に関する普及啓発を実施した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
市町村	食育月間及び食育の日の普及	-	-
	市町村栄養士のためのスキルアップ研修	2	160
岐阜県栄養士会	食育講話	-	-

4) 災害時に備えた取組みの推進

大規模な自然災害等の発生に備え、地方公共団体、民間団体等における食料の備蓄に加えて、各家庭でも家族の人数に応じた十分な量の食料を備蓄しておくことが重要です。日頃の行動で食料の備蓄を実践しやすくするローリングストック法や、乳幼児や高齢者、食物アレルギーを有する人といった災害時に特別な配慮が必要となる人がいる施設や家庭での備蓄などについて、周知啓発を行いました。

<関係課実施状況>

●給食施設指導(保健医療課・保健所)470回

給食施設において災害時給食提供マニュアルが策定され、マニュアルに沿った食料品等の備蓄整備等が進むよう指導・支援を行った。

●市町村保健事業健診事業等における啓発(市町村)

平時から災害に備え、家族構成にあった備蓄内容や方法、栄養バランスの配慮などの食の備えの重要性を啓発した。

2 学校、保育所、医療機関等における食育の推進

<目標と指標項目>

目標と指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
1 朝食を欠食する県民を減らす						
朝食を欠食する者の割合(小学生)	1.8%	2.1%	R6	×	0%	体育健康課
朝食を欠食する者の割合(中学生)	7.9%	6.6%	R6	○	0%	
朝食を欠食する者の割合(高校生)	20.0%(R3)	25.0%	R6	×	15%以下	保健医療課
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」を増やす						
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数(平日)(小学生)	8.3回	8.2回	R6	×	9回	体育健康課
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数(平日)(中学生)	7.0回	7.2回	R6	○	8回	
朝食を家族とともに食べる者の割合(高校生)	49.3%(R3)	54.0%	R6	○	60%以上	保健医療課
夕食を家族とともに食べる者の割合(高校生)	88.6%(R3)	87.4%	R6	×	90%以上	

<今後の取組み>

幼児や児童生徒が食に関する理解を深め日常の生活で実践することができるよう、保育所・学校が家庭や地域社会と連携、協働し、食育を一層推進していきます。実施にあたっては保育士・栄養教諭・管理栄養士等が中核となり、学校・家庭・地域が連携した食育推進体制を確立し次世代を担うこどもの食環境の改善に努めます。また、保育所や学校で学んだことを家庭で実践するよう促すことによって家庭での食育の促進を図ります。

1) 学校における次世代を担うこどもへの取組みの充実

学校での食育については、「食に関する指導の手引き(文部科学省)」に基づき、「教科等の時間における食に関する指導」「給食の時間における食に関する指導」「個別的な相談指導」の観点で指導や評価を行いました。

<関係課実施状況>

●学校における食に関する指導の充実(体育健康課)

栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修を実施し、食育の取組の啓発を行うとともに、各校において「食に関する指導の全体計画」を作成し、学校教育活動全体を通じた学校における食育の推進を図った。

●食に関する職員研修会(体育健康課)

栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修を通して食育の取組を啓発し、「食に関する指導の全体計画」に基づいた、学校教育活動全体を通じた組織的な食育の充実を図った。

●栄養教諭・学校栄養職員研修会(体育健康課)

栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修を通して食育の取組を啓発し、各校において「食に関する指導の全体計画」に基づいた学校教育全体を通じた組織的な取組の充実を図った。

●栄養教諭を中核とした食育推進指定校事業(体育健康課)

2校を食育推進指定校に指定し、栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域が連携した取り組みを通して、児童生徒の自己管理能力の育成を図るとともに、食育推進の取組の成果を県内に広めた。

●GIFU食のマイスタープロジェクト事業(体育健康課)【再掲】

食に関する実践力を身に付けるために、小学校では「味覚の授業」10校の実施及び「家庭の食育マイスター」17,171人委嘱、中学校では、「中学生学校給食選手権」36校の参加、高校では、「高校生食育リーダー」の事業を実施し、学校段階に応じた食育を推進した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県小中学校長会	学校における食に関する指導の充実	-	-
	家庭・地域への食育推進啓発活動	-	-
	食に関する指導	-	-
高等学校長協会	GIFU 食のマイスタープロジェクト	12 校 15 講座	-
高等学校長協会	技術力向上講座(食物)兼実技講習会	-	-
	高校生食育講座	-	-
岐阜県PTA連合会	ふれあい給食教室	1	40
	私が考えた学校給食メニューコンクール	-	-
岐阜県学校栄養士会	食に関する指導	-	-
	給食時間の指導	-	-
	給食試食会	-	-
	食育講話	-	-
	調理実習	-	-
	食育月間及び食育の日の働きかけ	-	-
	食育月間及び食育の日	-	-
岐阜県歯科医師会	口腔機能向上推進事業	3	約 150
岐阜県栄養士会	子育て支援	4	89
岐阜県食生活改善推進員協議会	エプロンシアター等媒体を活用した食育講座等の実施	-	-
	おやこ食育教室	36	1,199
バローホールディングス	多胎児バースデーセット		150
東海農政局	出向展示「つなぐ食・農・健康・環境フェア」	1	-

2) 楽しく食べる体験から始める保育所・幼稚園等の取組み

保育所等では、個人差に応じて様々な食品に少しずつ慣れ、食に関わる体験を積み重ねることによって、食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味や関心をもったり、食の大切さに気付いたりすることを促し、進んで食べようとする気持ちが育つような取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●私立幼稚園の心の教育(ふれあい)推進事業(私学振興課)

私立幼稚園が行う「心の教育推進」のひとつとして「食育の推進」を、岐阜県私立学校教育振興費補助金(教育改革推進特別補助金)心の教育(ふれあい)推進事業により支援した。

●児童福祉施設等給食施設担当者研修会(保健医療課・保健所)246 施設

児童福祉施設等において、よりよい給食運営・食育推進がなされるよう指導・支援を行った。

●保育所等指導監査(子育て支援課)

保育所保育指針や幼保連携型認定子ども園教育・保育要領に、食育の推進について規定されており、その取組状況を指導監査の中で確認した。

●持続可能な食を支える食育検討会(保健医療課)7回169人参加

農林漁業体験や地産地消の推進、野菜摂取増加に向け地域関係者と協働した取組みを図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県保育研究協議会	食を通した指導の実践(食事に関する基本的習慣等)	-	-
	食育推進研修会の開催	1	200
	岐阜県保育研究大会の開催	1	320
岐阜県幼稚園教育研究協議会	食を通した指導の実践(食事に関する基本的習慣等)	-	-

3) 医療機関等を通じた取組みの推進

生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を目的とした県健康増進計画「ヘルスプランぎふ21(第4次)」や保健医療に関する各計画とも連携しながら、健全な食生活の実践につながる取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクト(保健医療課・保健所・市町村)【再掲】184回 4,877人参加 産官学等で構成された会議を開催し、関係機関の連携体制を構築するとともに、協定企業等と連携し、健康に関心の低い者へのアプローチも含めた自然に健康になれる食環境整備を推進した。
●特定健診・特定保健指導(市町村) 特定健診に基づいた栄養指導を実施し、生活習慣病の発症予防及び糖尿病や慢性腎臓病など重症化予防に向けた栄養指導の充実を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
各市町村	特定健診・特定保健指導	-	-
	母子保健事業、成人保健事業(各種健診,教室,相談)	-	-

3 生産者と消費者との交流の促進

<目標と指標項目>

目標と指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
7 農林漁業体験を経験した県民を増やす						
農林漁業体験者数(※)	178千人	267千人	R5	○	300千人	農村振興課
8 食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民を増やす						
食品ロス削減に取り組む県民の割合	78%(R3)	78%	R3	—	97%	県民生活課

(※)暫定値：次期「ぎふ農業・農村基本計画(令和8年度～)」により目標値の見直しを実施

<今後の取組み>

生産者等と消費者との交流や都市と農山漁村の共生・対流等を進め、消費者と生産者等の信頼関係を構築し食料需給について理解を深めることで、持続可能な食の循環を実現していきます。

また、まだ食べることができる食品等を破棄せず、不要な食品はフードバンクに寄付する等してできる限り活用するようにするなど、個人個人が食品ロスの削減に取り組んでいきます。

1) 農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供

日々の食生活は自然の恩恵の上に成り立ち、食べるという行為自体が貴重な動植物の命を受け継ぐこと食料の生産から消費等に至るまでには、生産者を始めとして多くの人々の苦労や努力に支えられていることを理解し実感できるよう、様々な体験活動や適切な情報発信等の取組みを推進しました。

また、農業が県民の生命と健康を守り豊かな暮らしを支えていることや、農業・農村が有する多面的機能について理解を深め、消費者と農山村との交流の促進に取り組みました。加えて製造業者、外食業者等に対しては、県産農畜水産物を積極的に活用してもらうとともに、その特長を活かした加工品の製造販売や飲食物の提供を通じて、県産農畜水産物の魅力やその生産の背景等に関する知識を消費者に伝えました。

<関係課実施状況>

●地域の魅力再発見食育推進事業費補助金(農産物流通課) 2 件

食や農畜水産業に対する県民の理解や信頼を高め、県産農産物の消費拡大を図るため、市町村や民間団体等が実施する食農体験や料理教室等の食農教育活動を支援した。

●幼児食農プログラムの普及(農産物流通課)

幼稚園、保育施設及び食育推進ボランティア等が実施する幼児、児童を対象とした調理体験活動を通して、食農教育活動の促進を図った。

●グリーンツーリズムの指導者の育成等(農村振興課)

農林漁業体験者を増やすため、グリーンツーリズムや農泊に関する指導者を育成する研修会や情報発信等を実施した。

●ぎふグリーンツーリズムネットワーク大会の開催(農村振興課) 1 回 80 人参加

県内のグリーンツーリズム実践者の交流・連携を深め、県内実践者のネットワークの拡大・強化が図られた。また、グリーンツーリズムによる誘客促進の意欲向上につながった。

●清流長良川あゆパークでの体験(里川・水産振興課)

世界農業遺産「清流長良川の鮎」の理解促進及び若い世代の川や魚への関心を高めるため、鮎つかみどり体験等の体験プログラムを提供した。

●ふるさと農村活性化対策調査研究事業(田んぼの学校他)(農村振興課)延べ 1,280 人参加

18 の小学校で田んぼの学校活動を実施し、農業・農村の多面的機能と保全の大切さの理解につなげた。

●子ども農山漁村交流プロジェクトの推進(農村振興課)

小中学校を中心に県内外のこどもを受入れ、農山漁村での自然体験や農林漁業体験による環境教育を実施した。

●棚田地域水と土保全基金事業(農村振興課)8 地区

棚田の魅力を広く情報発信し、都市住民の棚田地域への訪問を促し、棚田保全活動への参加につなげた。

●岐阜県農林漁業体験施設登録制度の推進(農村振興課)79 か所

新たな農林漁業体験施設の登録がされ、都市住民との交流につながった。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	ライスパーパークッキング	1	25
	ナンを作ってみよう	1	42
	ハムとウインナーの話	1	16
	ばすてらふクラブ	1	5
	おにぎりを作ろう	1	41
	「ケーちゃん」でカレーを作ろう！	1	14
	飾り寿司を作ってみよう	1	29
	尾張製粉とお絵かきホットケーキ	1	21
	味噌料理交流会	1	14
	アイスクリーム学習会&パフェ	1	39
	簡単な肉巻きおにぎり作り	1	8
	アイスのハナシ	1	36
	みんなでおはぎ	1	10
	カップケーキに挑戦	1	8
	コーヒー&紅茶のハナシ～スイーツとともに～	1	18
	ごま油学習会	1	15
	ぎふを食べよう！お麴を使った料理交流会	1	18
	味噌造り講習会	1	31
	Anoi さんとスノーボール教室	1	16
	いでゆカフェ(クリスマス)	1	10
	飾り巻きづくり	1	19
	クリスマスクッキング	1	13
	浜の母さん交流会	1	25
	衣笠製麺さん学習会	1	10
	麴兵 メーカー見学	1	10
	尾張製粉さんがやってくる	1	12
	美濃酪さんへ行こう	1	40
	ヤマモリ松阪工場見学	1	28
	産地を知ろう「大倉園芸」見学	1	8
	バス企画『のだみそ』	1	39
	ほらどキウイ産地研修	1	16
	25 周年サラダコスモ工場見学	1	39

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	コープ 25 周年もだに農園産地見学	1	50
	25 周年企画もだにりんご狩りバスツアー	1	46
	下呂特産加工見学	1	9
岐阜県卸売市場連合会	夏休み親子市場見学会	3	-
	市場見学会(小学生対象、高校生対象)	2	-
	青森りんご出前授業	3	-
岐阜県女性農業経営アドバイザー いいきネットワーク	幼稚園や保育園、小中学校等を対象とした食育活動	18	585
	女性農業経営アドバイザーによる消費者との交流	9	199
バローホールディングス	おさかな教室	1	15
	「鮎」販促	1	-
東海農政局	出張講座「お米づくり講習会」	1	72

2) 食の循環や環境を意識した取組みの推進

食に関するすべての関係者が、調達から生産、加工、流通の各段階で環境負荷の低減に取り組むことが重要であり、環境にやさしい農林水産物や食品の消費が広く行われるよう消費者の理解醸成に取り組みました。また、直接廃棄される食品の発生を抑制するため、食品の種類に応じた適切な保存方法や食材の有効活用、無駄の出ない買い物の方法など、食品ロス削減に繋がる取組み事例を情報発信し、人や社会、環境に配慮した消費行動「エシカル(倫理的)消費」を意識した生活を行うよう、県民への啓発に取り組みました。

<関係課実施状況>

●食品ロス削減普及啓発事業(県民生活課)

食品ロス削減月間(10月)に合わせて、教育委員会、大学、市町村、食品関連事業者等と連携して、普及啓発キャンペーンを実施。食品ロス削減をテーマとしたポスターと標語を募集し、入選作品を掲載したポスターを作成し、食品ロス削減月間に合わせて、学校、市町村、協力店舗、事業所等に掲出した。また、県ホームページやSNS(インスタグラム)、啓発チラシ、ポスターなど、多様な媒体を活用した普及啓発活動を実施した。

●食品ロス削減啓発ポスター・標語コンテスト(県民生活課)

募集対象：県内の中学校、高等学校、特別支援学校(中学部・高等部)等の生徒、学生
応募総数：ポスターの部 124 点、標語の部 2,425 点

●ぎふ食べきり運動連携事業(廃棄物対策課)

「ぎふ食べきり運動【岐阜県公式】インスタグラム」によって、食品ロス削減に関する取り組みや「ぎふ食べきり運動」協力店・協力企業から提供いただいた食べきりレシピについて情報発信を行った。

●環境にやさしい農業の推進(農産園芸課)18回

消費者に、安全・安心で環境にやさしい農産物を安定的に供給するため、農業者によるぎふ清流 GAP 農産物の生産販売、PR 活動等の取組みを支援した。
また、農産物の安定供給が図られるよう必要な機械・施設等の導入を支援した。

●ぎふ食と健康応援店普及と登録推進(生活衛生課)【再掲】

飲食店・コンビニエンスストア等との協働により、県民に食品ロスに関する啓発を行った。

●清流を守る環境保全型農業総合推進事業(農産園芸課)1回

「ぎふ清流 GAP」による、安全・安心で環境にやさしい農産物の供給体制を整備した。また、有機農業においては、好循環形成に向けた取組みを支援した。

●元気な農業産地構造改革支援事業費補助金(農産園芸課)18回

「ぎふ農業・農村基本計画」の4つの基本方針に則した産地の構造改革の取組及び農産物の安定生産に対応するため、共同施設の再編整備や、災害に強いハウスの強化対策を支援した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	フードドライブ	12(合計 36)	1,889 点、重量 586kg

4 農林水産業の活性化及び農林水産業者への支援

<今後の取組み>

「ぎふ農業・農村基本計画(令和 3～7 年度)」に基づき、強靱かつ食料供給の基盤等の多面的な機能を発揮する農村の実現と同時に、農村地域の活性化を目指して農業・農村づくりを推進します。

1) 生産基盤の整備

中山間地域の急傾斜な畦畔など不利な条件下でも、農業の多面的機能を十分に発揮できるよう、生産基盤の整備を図るとともに、地域資源を活かした農村づくりを進めました。

<関係課実施状況>

●ぎふの田舎応援隊活動の推進(農村振興課)延べ 477 人参加

都市住民等との交流による農村地域の維持・活性化を図る応援隊サポーター活動の支援を行った。

●農地イキイキ再生週間の実施(農村振興課)11 回 148 人参加

地域住民に、年々増加する遊休農地の発生抑止や農地の確保の重要性を PR するために、「農地イキイキ再生週間」を設定し、啓発活動を行った。

●日本型直接支払制度(農村振興課)

地域住民による農地や農業用施設など農業資源の管理・保全活動を推進した。

●各農業農村整備事業(農地整備課)

基盤整備実施のための地域の合意形成を促進した。平坦地域では、水田の大区画化、汎用化による低コスト化や高度利用化を促進。中山間地域では、地域の実情に応じたきめ細かな基盤整備を推進した。

2) 農林事業者の経営基盤の強化

中山間地域等において将来にわたって持続可能な農業を実現するため、中核的な担い手を育成するとともに経営の安定化を支援しました。

<関係課実施状況>

●就農相談会(農業経営課)

就農相談の総合窓口に就農相談員等を配置し、就農希望者に対し個別相談等を行った。

●集落営農等育成推進事業(農業経営課)

将来にわたり農地を守る体制づくりに向け、担い手が不足している中山間地域等において集落営農の組織化や法人化を推進した。

●やる気発掘農業ゼミオンライン(農業経営課)

就農意欲を高めるため、農業の基礎的知識を学ぶ座学研修をオンラインで実施した。

●あすなろ農業塾(農業経営課)

就農意欲の高い者が、先進的農業者の下で実践技術や経営手法等を学ぶとともに、就農に必要な農地の確保等への支援を受ける研修を実施した。

5 地産地消の促進

<目標と指標項目>

目標と指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
6 地場産物を活用した取組みを増やす						
地産地消率(※)	40.3%	40.8%	R6	○	52%	農産物流通課
学校給食における地場産物の使用割合(金額ベース)(※)	60.3%	58.0%	R6	×	66%	体育健康課

(※)暫定値:次期「ぎふ農業・農村基本計画(令和8年度～)」により目標値の見直しを実施

<今後の取組み>

地産地消の推進にあたっては、生産、流通、販売、消費、それぞれの立場で自主的かつ積極的に取り組む社会的気運の醸成が必要です。そのため今後も、学校給食の県産食材の普及・定着、安定的な生産・供給体制の構築を実施していきます。

1) 学校給食における県産食材の利用促進

学校給食における地場産物の活用は地産地消の有効な手段であり、地場産物や国産食材についての理解を深める絶好の機会でもあると同時に、地域の関係者の協力の下、未来を担うこどもたちが持続可能な食生活を実践することにもつながるため、学校給食における県産食材の普及・定着等の取組みを推進します。また、その実現のため、生産者や学校との連携を強化し、学校給食における地域の農林水産物の安定的な生産・供給体制を構築します。

<関係課実施状況>

●学校給食地産地消推進事業補助金(農産物流通課)

学校給食への県産農産物の利用を支援し、将来の消費者である児童・生徒に県農業への理解・愛着を醸成するため、県内産農畜水産物の学校給食への使用量に応じて購入費の一部を助成した。

- ・事業主体:岐阜県農業協同組合中央会
- ・補助率:県 1/3(市町村立校)、1/2(その他校)

●学校給食用牛乳供給事業(畜産振興課)

小・中・夜間高校及び特別支援学校に通学する児童、生徒が食べる学校給食への県内産牛乳の安定供給を推進した。

●学校給食への地場産物の活用(体育健康課)全学校1回以上

農産物流通課、岐阜県学校給食会等との連携を図り、地域の実情に応じた県内産地場産物を積極的に取り入れ、学校給食を生きた教材とした指導の充実を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
JA岐阜中央会	学校給食地産地消推進事業	-	165,856
東海農政局	令和6年度「学校給食セミナー」の開催	3	200

2) 食品関連事業者等との連携強化

小売業者等の食品関連事業者と連携を強化し、地産地消を推進しました。

<関係課実施状況>

●地産地消県民運動(農産物流通課)

地産地消ぎふ応援団への登録促進(2,927 件)、地産地消フェア(4 回)、デジタルスタンプラリー(1回)、食農体験(5回)、学食等による地産地消メニューフェア(3校)の実施の他、専用 WEB サイト「地産地消めぐり」や SNS により、県内の地産地消に関する情報発信を実施し、地産地消に対する社会的機運醸成を図った。

●食肉惣菜創作発表会(畜産振興課)1 回 90 人参加

国産食肉と地域食材を活用した食肉惣菜の利用技術の向上・普及を図るため、一般消費者から実技参加者を募集し、食肉惣菜創作発表会を開催した。

●鶏卵・鶏肉料理コンクール(畜産振興課) 61 作品応募

鶏卵・鶏肉の消費促進と正しい知識の普及を図るため、県内高校生以上の学生を対象に、岐阜県産の鶏卵・鶏肉を材料とした料理コンクールを開催した。

●はちみつ共進会(畜産振興課)1 回 48 人参加

「岐阜県はちみつ共進会」の開催により、はちみつの品質の向上と採みつ技術の向上並びに消費拡大を図った。

●特用林産物競争力強化・販路拡大支援事業(県産材流通課)3 回 150 人参加

生産者団体が「特用林産物競争力強化・販路拡大支援事業」を活用し、県内及び県外の小学校等を対象に、こどもへのシイタケへの理解を深めることを目的に、菌床ブロックの提供等の食育活動を実施した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	第10回地産地消のつどい	1	500
	指定野菜について一緒に学ぼう	1	8

3) 朝市・直売所の活動支援

県内の朝市・直売所、量販店、飲食店などにおける県産農産物のPR活動等を通じて、食料自給の現状や適正な価格形成に対する消費者の理解の促進など、地産地消による農業の持続可能性に配慮した流通・消費行動の普及啓発を推進しました。

<関係課実施状況>

●朝市・直売所の活動周知(農産物流通課)1 回 38 人参加

直売所運営者や生産者等の直売所関係者を対象に研修会を実施し、直売所が抱える運営等の課題解決に向けた知識や技術等の取得を支援した。

6 食文化の継承のための支援

<目標と指標項目>

目標と指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
9 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている県民を増やす						
食べ方や作法などを伝承している者の割合	85.8%	81.9%	R5	×	90%	保健医療課
郷土料理や伝統食(行事食)など伝承している者の割合	52.0%	51.3%	R5	×	60%	

<今後の取組み>

食育にとって、郷土食や行事食を通じ地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めることは重要であるが、地場産物を生かした郷土料理、その作り方や食べ方、食事の際の作法等優れた伝統的な和食文化が十分に継承されず、その特色が失われつつある。

地域に伝わる多様な食文化を次世代へ継承するため、関係機関と協働し、簡単に作ること・食べることが出来る郷土料理の啓発を推進します。

1) 地域の多様な食文化の継承につながる取組みの推進

地域での食育推進活動の中核的役割を担うことが期待されている食生活改善推進員等の食育ボランティアと協働し、伝統食に対する興味や関心を高め、食文化の継承を図るために郷土料理の魅力を発信しました。

<関係課実施状況>

●地域での食文化共食推進事業(保健医療課)88回4,063人参加

食文化の保護・継承と共食を通じた栄養バランスに優れた日本型食生活の推進を目的に、圏域別郷土食堂動画・レシピカード(作成済)を活用し、イベントを実施した。

●ぎふの味・伝承名人認定事業(生活衛生課)

県産品等の「こだわり食材」を使用した料理コンクールを開催し、「ぎふの味・伝承名人」を認定するとともに、次世代の育成講習会を開催した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	ケイちゃん試食	1	20
	ぬか床学習会	1	12
	ほうばずし作り	1	11
岐阜県女性農業経営アドバイザーネットワーク	女性農業団体による地域内農産物を活用した農産加工・料理教室	4	143
岐阜県食生活改善推進員協議会	地域での食文化共食推進事業(県委託)	88	4,063
	郷土食普及啓発	-	-

2) 学校給食等での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用

伝統的な食文化について、こどもが早い段階から興味・関心を持てるよう、学校給食を始めとした学校教育活動において郷土料理の歴史、ゆかり、食材などを学ぶことで地域の食文化を育んできた人々の知恵や工夫などに気付き、郷土の恵みに感謝する心を育む取組みを推進しました。

<関係課実施状況>

●学校給食への郷土食・行事食の導入(体育健康課)全学校1回以上実施

「食育の日」や「学校給食週間」において、学校給食に郷土食や行事食を積極的に導入し、家庭・地域との連携を図りつつ、児童生徒が郷土食や食文化を理解し、尊重する心を養うための指導の充実を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県学校栄養士会	学校給食を通じた食文化の指導	-	-

7 食育の推進に関する普及啓発

<目標と指標項目>

目標と指標項目	現状値(R4)	最新値	(年度)	目標達成状況	目標値(R11)	担当課
10 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する県民を増やす						
リスクコミュニケーション事業の参加者数	1,029人	1,459人	R6	◎	毎年1,000人	生活衛生課
食品の安全に関する出前講座における参加者の理解度	94%	98%	R6	◎	90%	

<今後の取組み>

SNS の普及等により食に関する様々な情報があふれ、信頼できる情報を見極めることが難しい状況となっています。製造者等は食品の安全性や栄養成分表示等、食品の特徴や成分を正しく伝えることに努める一方、消費者である県民は、その正しい情報を理解し食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける取組みを今後も推進します。

1) 積極的な情報発信

一般県民が食品表示を正しく理解し情報を正しく読み取ることができるようにするため、食品表示に関心を持ち理解を深める取組みを推進しました。また、食育に関わる関係機関や団体と協働し、6月の「食育月間」及び毎月19日の「食育の日」に食育に関する情報を重点的に発信したり、「家庭の日」に「家族そろって食卓を囲む」ことを発信したりするなど効果的な情報の発信に努めました。

<関係課実施状況>

●家庭教育学級(県民生活課)

「食」に対する意識を高めるため、食育をテーマとした家庭教育学級の実施及び保護者向けニュースレターを発行した。

●食育月間・食育の日の普及と効果的な啓発の実施(保健医療課・保健所・市町村)【再掲】

毎年6月を「食育月間」と定め、関係者の緊密な連携・協働を図りつつ、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施することにより、国民の食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促し、その一層の充実と定着を図った。取組：月間65事例、月間以外60事例、食育の日42事例

●食卓の安全・安心ニュース及びメールマガジンの提供(生活衛生課)38回

県民に食の安全に関する正しい情報を提供し、安心感の向上を図るため、「食卓の安全・安心ニュース」「ぎふ食卓の安全・安心メールマガジン」を発行した。

●見学可能な施設リストの作成(生活衛生課)

県内の食品等製造、生産施設のうち、見学及び意見交換の受入可能な施設をリストとして公開し、県民の見学施設選定のための情報を提供した。

●栄養成分表示に関する普及啓発(消費者向け)(生活衛生課)14回438人参加

消費者が食品を選択する能力を身につけることを目的として、加工食品と生鮮食品の表示及び栄養成分表示について講義を実施した。食品を選択する時に、正しく栄養成分表示を読み取り活用することができるよう栄養成分表示に関する講習会を実施した。

●「ぎふ食卓の安全・安心メールマガジン」の発行(生活衛生課)【再掲】

県民に食の安全に関する正しい情報を提供し、安心感の向上を図るため、「ぎふ食卓の安全・安心メールマガジン」を発行した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県調理師連合会	調理師再教育事業	1	10
	味覚の一週間	20	778
	こどものための愛情弁当コンテスト	1	79

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県食品産業協議会	情報提供事業	1	25
J A 岐阜中央会	J A 食農リーダーの養成	4	54
東海農政局	YouTube 動画「東海食育さんぽ」と「食野いくら それおしえて！」の配信	3	-

2) リスクコミュニケーションの推進

食品の持つリスクに対し、消費者をはじめ食品安全に関するすべての関係者との双方向のリスクコミュニケーションを通じて、食品の生産、流通、消費などそれぞれの段階における安全性に関する総合的な理解を促進しました。

<関係課実施状況>

●食の安全に関する三者懇談会(生活衛生課)12回 255人参加

県民、食品関連事業者及び行政による食品の安全確保に関する意見交換会を関係団体と連携して開催し、食品衛生に対する理解と知識の普及を進めた。

●食品安全セミナー(生活衛生課)2回 45人参加

消費者(小学生児童とその保護者)を対象として、食品についての正しい情報の提供や生産者と直接対話し理解を深めるために(株)サラダコスモ養老生産センター、保健環境研究所の現地視察等を実施した。

●出前講座「食の安全知っ得講座」(生活衛生課)15回 353人参加

県民が、食品の安全に関して疑問に感じていることや、学習したいことについて、地域の施設等へ職員が出向き、講座及び意見交換を行った。

●食品安全対策モニター研修会(生活衛生課)【再掲】2回 19人参加

食品安全対策モニターに、食品に関するより詳細な情報を提供し、知識の向上を図る研修会を開催した。

●食品の安全・安心シンポジウム(生活衛生課)【再掲】1回 126人参加

食品の安全性に関する正しい知識の普及を図り、消費者の食品に対する安心感の向上に資するため、「食品添加物」をテーマに開催した。

●見学可能な施設リストの作成(生活衛生課)【再掲】

県民に対し、見学施設選定のための情報を提供し、消費者と食品事業者の交流を促進した。

●栄養成分表示に関する普及啓発(消費者向け)(生活衛生課)【再掲】

県民に対し、見学施設選定のための情報を提供し、消費者と食品事業者の交流を促進した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
全岐阜県生活協同組合連合会	食の安全とベジチェック	1	10

3) 学習会やイベント等を通じた取組みの推進

食生活改善推進員等のボランティアが行う、地域の料理教室や体験活動等を支援し、食育の充実を図るとともに「食育月間」や「食育の日」には、関係者の緊密な連携・協働を図りつつ食育推進運動を重点的かつ効果的に実施しました。

<関係課実施状況>

●食育ボランティアの把握と活用促進事業(保健医療課)

地域で食育活動を実施するボランティアを把握し、食育情報の提供等活動支援を実施した。

●岐阜県農業フェスティバルでの普及啓発活動(農産物流通課) 2日間 21万7千人参加

地産地消を意識する機会を提供することで県産農畜水産物に愛着を持ち、消費行動につなげることを目的に、県庁周辺一帯を活用し「第35回岐阜県農業フェスティバル」を開催した。

●食品の安全・安心シンポジウム(生活衛生課) 1回 126人参加

食品の安全性に関する正しい知識の普及を図り、消費者の食品に対する安心感の向上に資するため、「食品添加物」をテーマとしたシンポジウムを開催した。

●出前講座「食品の安全 知っ得講座」(生活衛生課)【再掲】15回 353人参加

県民が、食品の安全に関して疑問に感じていることや、学習したいことについて、地域の施設等へ職員が出向き、講座及び意見交換を行った。

●中高生向け出前講座「食品の安全、知っ得講座」(生活衛生課)【再掲】8回 353人参加

食品の安全に関する正しい知識を子どもたちに身に付けてもらうため、中学生及び高校生を対象として、出前講座を実施した。

●ジュニア食品安全クイズ大会(生活衛生課) 7回 385人参加

次世代を担う子どもたちを対象に、小学校で食品安全に関するクイズと解説を行い、食品安全に関する正しい知識の普及を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
J A岐阜中央会	J A食農フォーラム	1	約400
	岐阜県農業フェスティバル内J Aコーナー	1	-

4) 活動できる人材の育成

大学、短期大学において食育に関する専門知識を備えた管理栄養士・栄養士の養成を図るとともに、その多面的な活動が食育の推進に寄与するよう支援しました。同時に、地域において食育の推進が着実に図られるよう、県行政や市町村行政における管理栄養士等の配置を推進するとともに、高度な専門性を発揮できる管理栄養士の育成を図りました。

また、食育を県民運動として推進し、県民一人ひとりに寄り添った食育の実践につながるよう、食生活改善推進員等の食育推進ボランティアの人材育成等を行い、活動を支援・協働することで地域での食育の実践活動の充実を図るとともに、家庭、地域、学校、保育所、職場等ありとあらゆる場所で食育が展開されるよう、各種研修会等の開催を通じて食育を実践できる人を育成しました。

<関係課実施状況>

●食育ボランティア研修会(保健医療課)12回 351人参加

地域の食育推進ボランティア等を対象に、青年期の課題を解決するための具体的手法の提供等、効果的に地域で実践活動が行われるよう研修会を開催した。

●地域保健関係職員研修会(保健医療課・保健所) 5回 101人参加

地域において保健活動に従事し、マンパワーとして活動する地域活動栄養士や行政栄養士等を対象に、地域の健康課題の解決に向けたスキルを身に付け、栄養士が果たす役割を理解することで、効果的に健康づくりや生活習慣病の発症、重症化予防を推進し、食環境整備を進めることを目的に研修会を開催した。

●食品表示に関する講習会(生活衛生課) 4回 357人参加

食品関係事業者、健康食品取扱事業者及び広告事業者に対して、食品表示法、医薬品医療機器等法、景品表示法の関係法令について、講習会(サテライト会場の設置)を開催した。

●食品安全対策モニター研修会(生活衛生課)

食品安全対策モニターに、食品に関するより詳細な情報を提供し、知識の向上を図るための研修会を開催した。

●教職員研修(教育研修課)

子どもたちに対し農業体験等から学ぶ実践的な食育を推進できるよう、指導者を養成した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
岐阜県歯科医師会	歯と健康の県民フォーラム	1	200

8 県民の意見の反映

<今後の取組み>

食育に関連する施策に関わる主体は、国や県、市町村、教育、保育、社会福祉、医療及び保健の関係者、農林漁業の関係者、食と健康づくりに関する連携協定企業、食品の製造、加工、流通、販売、調理等の関係者、その他の食に関わる活動等の関係者、更には様々な民間団体やボランティア等に至るまで多様かつ多数です。食育の推進には、このような多様な関係者による主体的な取組みとともに、これらの関係者が広範かつ横断的に連携・協働した取組みが必要であり、その取組みを促進するためには関係者相互間の積極的な情報及び意見の交換を促すことが今後も必要です。

1) 推進体制の整備

ア 多様な関係者の連携・協働の強化

家庭、学校・保育所、職場、地域等の各場面において地域や関係団体の連携・協働を図りつつ、生涯を通じた食育を推進することができるよう、岐阜県食育推進会議を核として健康・教育・農政等の幅広い分野からの意見を聴取し、施策に反映するよう努めました。

<関係課実施状況>

●食育推進会議の開催(保健医療課・保健所) 1回 27人参加、保健所 5回 112人参加

第4次食育推進基本計画の重点や変更点を関係機関と共有することができた。また、健康課題である減塩の推進や SNS 等を活用した啓発など重点世代に対するアプローチについて取組みの方向性を共有した。

●圏域青年期の食育推進検討会(保健所) 5回 55人参加

青年期への食育推進を図るため、高等学校、大学関係者等と課題を共有するとともに、連携を構築し、高校生、大学生に対する食育の充実を図った。

●食品安全対策協議会(生活衛生課) 3回 33人参加

県が実施する施策に対して、食品の安全性に関する種々の意見を反映することを目的として、食品の安全に係わるさまざまな関係者(消費者、生産者、製造者、流通業者及び行政)の間で、意見交換を実施した。

イ 調査、研究等の実施及び推進状況の把握と効果等の評価

食育に関する県民の意識や食生活の実態等について調査研究及び分析を行い、その成果を広く公表するとともに、食育の推進の基礎的なデータとしてその結果を活用しました。

<関係課実施状況>

●3歳児(保護者)食生活等実態調査(保健医療課)【再掲】回答数 10,469人

第4次計画の評価等への活用と目標達成に向けた対策を検討するため、県内市町村が実施する3歳児健診時に3歳児及び保護者に対する食生活等実態調査を実施した。

●高校生等食生活実態調査(保健医療課)【再掲】回答数 2,341人

第4次計画の評価等への活用と目標達成に向けた対策を検討するため、県内県立高等学校61校の2年生を対象に高校生の食生活等実態調査を実施した。

●食品事業者の監視・指導(生活衛生課)

「令和6年度岐阜県食品衛生監視指導計画」を定め、これに基づき食品事業者に対して立入検査、衛生管理指導、食品の表示検査等の監視指導を実施した。

●食品表示適正化強化月間(生活衛生課) 794施設

食品表示関係法令を所管する各機関が合同で監視指導を実施するなど、関係機関の相互連携を強化することにより、県内に流通する食品表示の適正化を図った。

●食品表示等総合講習会(生活衛生課)2回 273人参加

食品関係事業者、健康食品取扱事業者及び広告事業者に対して、食品表示法、医薬品医療機器等法、景品表示法の関係法令について、講習会（サテライト会場の設置）を開催した。

●食品関連事業者等に対する相談対応(生活衛生課)277件実施

食品関連事業者等に対し、食品表示法（保健事項）及び健康増進法に基づく適正表示が行われるよう、相談対応を実施した。

ウ 市町村における取組みの推進

市町村では、市町村保健センターを中心に、管理栄養士・栄養士等による妊産婦から高齢者まで全てのライフステージを対象とした栄養指導等が実施されていることから、県は、健康診査や各種教室等における保健・栄養指導を通じて一貫した食育が推進されるよう、市町村に対し必要な資料や情報の提供により支援するとともに、地域での食育の推進がより一層充実するよう技術的な支援にも努めました。

<関係課実施状況>

●食育推進計画等に関する調査と計画改定支援(保健医療課)

岐阜県食育推進基本計画の進捗管理等のため、各種調査を実施するとともに、市町村計画改定の支援を行った。

●市町村・食生活改善支援事業(保健医療課)41市町村

市町村の食育計画の進捗状況や栄養・食生活改善事業の実態を把握し、市町村の健康課題解決に向けた活動を推進した。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
市町村保健活動推進協議会	市町村栄養士活動事例集	1	42

第3章 食農教育

<今後の取組み>

生涯を通じた食習慣の形成の基盤となる幼児、こども世代に重点をおき、実際の体験による食農教育を支援しました。また、食農教育が県民運動として展開されることを目指し、家庭や地域、学校、企業や生産者、ボランティア等が連携し、地域などで実践的な食農活動が展開されるよう今後も支援します。

<関係課実施状況>

●持続可能な食を支える食育検討会(保健医療課)【再掲】7回 169人参加

農林漁業体験や地産地消の推進、野菜摂取増加に向け地域関係者と協働した取組みを図った。

●幼児食農プログラムの普及(農産物流通課)【再掲】10回

幼児及び児童用調理器具の貸出を行い、体験を通じた食農教育を支援するとともに、保育所等にプログラムを周知し、活用を促進しました。幼稚園、保育施設及び食育推進ボランティア等が実施する幼児、児童を対象とした調理体験活動を通して、食農教育活動の促進を図った。

●地域の魅力再発見食育推進事業補助金(農産物流通課)【再掲】2団体支援

食育リーダーの育成や食育に関わる関係機関の食育推進体制の構築、料理教室や農林漁業体験の機会等の提供を通じて食育の推進、食文化の継承を図った。

<関係団体実施状況>

団体名	事業名	回数	人数
J A岐阜中央会	大豆種子と副読本の提供による栽培・収穫・加工体験	-	6,208
	バケツ稲作キットの提供による栽培体験	1	1,801
岐阜県女性農業経営アドバイザー いきいきネットワーク	小中学生等を対象とした農作業体験学習	22	667
全岐阜県生活協同組合連合会	ひがしみの田植え交流会	1	43
	にしみの稲刈り	1	38
	ひがしみの稲刈り交流会	1	60
	茶摘み体験	1	60
	枝豆収穫体験	1	15
	トマト収穫体験	1	26

第4章 関係各課・団体 食育の取組み

1 関係課

1)環境エネルギー生活部

○ 廃棄物対策課

食品ロスを削減するため、「ぎふ食べきり運動」を推進します

食品廃棄物のうち、食品ロス(本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品)を削減する取組を「ぎふ食べきり運動」として推進しています。

食品取扱事業者等と連携し、食品ロスの削減を促すほか、県民の皆様普段の生活で気軽に食品ロスの取組を実践いただけるよう、普及啓発に努めます。

○ 県民生活課

家庭教育学級や企業内家庭教育研修で、保護者の食育への意識を高めます

県民生活や事業活動等における食品ロスの削減につながる取組みを推進します

・家庭教育学級

食育をテーマとした家庭教育学級の実践事例を家庭教育学級応援通信やホームページ等で紹介したり、食育に関する家庭教育学級実施のためのプログラムや資料を提供したりすることで、保護者の食育への意識を高めるよう努めています。

・企業内家庭教育研修

企業・事業所で開催される家庭教育研修で、食育をテーマとした学習の機会を提供しています。

・食品ロス削減普及啓発推進事業

食品ロス削減をテーマとした標語やポスターを募集したり、食品ロス削減の取組みに関する情報発信を行ったりすることで、食品ロスの削減につながる取組みを推進します。また、10月の食品ロス削減月間に合わせた普及啓発キャンペーンを実施しています。

2)健康福祉部

○ 医療福祉連携推進課

8020運動・口腔保健推進事業(ハマルニマル:80歳で自分の歯を20歯以上保とう)において食育を推進します

健康で質の高い生活を営むうえで、歯・口腔の健康が基礎的かつ重要な役割を果たしていることから、8020運動推進協議会や口腔保健支援センター推進協議会において関係団体と連携し、自分の歯を維持すること、噛むことや口から美味しく食べて栄養補給できることの重要性について理解を深める普及啓発を通して食育を推進します。

○ 保健医療課

岐阜県の食育の窓口として食育を推進します

岐阜県食育基本条例、第4次岐阜県食育推進基本計画に基づき、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、関係機関・団体と協働して「生涯にわたって健全な食生活を送る人を育てる」食育を推進しています。

子どもから高年期層まで、ライフコースに応じた食育をすすめます。

○ 生活衛生課

すべての県民とのコラボレーションにより、「将来にわたって安全で安心な食生活ができる岐阜県」の実現を目指します

食品の安全性確保と安心感の向上のため「食品の安全性の確保」「食品に対する安心感の向上」及び「将来にわたる安全な食生活の確保」の3つの方向に向かって施策を展開しています。

安全な食品を確保するために、食品関係事業者への監視指導はもちろんのこと、県民の皆さんとのリスクコミュニケーションにも積極的に取り組み、正しい情報の共有やお互いの意見の交換を通じ、信頼関係のある施策の実施に努めます。

○ 薬務水道課

健康食品による健康被害の防止と健康の維持増進を実現します

健康食品等を健康づくりに利用している県民の皆様の安全確保を図るため、健康食品取扱業者への監視指導を徹底するとともに、実際に健康食品を利用している県民の皆様からの幅広い相談に応えていくために、従来の法的規制だけでなく健康寄与に関する健康食品相談窓口の設置等、相談体制の充実に努めます。

○ 高齢福祉課

高齢者への栄養改善の必要性の普及啓発に努め、高齢者の自立と生活の質の向上のため、地域ぐるみの継続的な介護予防を目指します

高齢者の日常生活において、「食をすること」を支援し、低栄養の予防や改善を通じて、高齢者自身が「食」を楽しみ、栄養改善の必要性を理解したうえで、意欲を持って栄養改善プログラムやサービスに参加できるよう、栄養改善の普及啓発に努めます。

また、介護予防事業に従事している関係職員に対し、介護予防従事者研修会（運動器の機能向上・口腔機能向上・栄養改善）を開催します。

3) 子ども・女性部(令和7年度組織編制)

○ 子ども・女性政策課(令和7年度組織編制)

「家庭の日」の普及実践に取り組みます

食事は、家族みんながふれあう機会でもあることから、食育を含めた家庭教育向上のために、「家庭の日」の普及実践に取り組みます。

○ 子育て支援課

課題を抱える子どもに対する生活面の支援を推進します

支援を必要とする子どもを対象とした子ども食堂や子ども宅食を実施または支援する市町村に対して、新規開設時や実施内容の拡充時の経費等を補助します。
併せて、子ども食堂等の継続的な運営に向けた支援体制の確保に努めます。

○ 子ども家庭課

課題を抱える子どもに対する学習面・生活面の支援を推進します

生活困窮世帯やひとり親家庭の子どもなどを対象とした学習支援を実施します。
また、支援を必要とする子どもを対象とした子ども食堂や子ども宅食を実施または支援する市町村に対して、新規開設時や実施内容の拡充時の経費等を補助します。
併せて、子ども食堂等の継続的な運営に向けた支援体制の確保に努めます。

○ 私学振興課(令和7年組織編制)

私立幼稚園における食育を推進します。

私立幼稚園が行う「心の教育推進」のひとつとして「食育の推進」を、岐阜県私立学校教育振興費補助金(教育改革推進特別補助金)心の教育(ふれあい)推進事業により支援しています。

4) 農政部

○ 農政課

安全・安心・おいしい農畜水産物の生産に向けて技術開発を進めます

県試験研究機関では、県民の皆様への安全、安心かつおいしい農畜水産物を提供することを目的に、技術開発や品種育成などに取り組んでいます。
また、こうした取組を出前講座や見学等で県民に紹介することで、食への関心を持っていただくようにしています。

○ 農産物流通課

食と農に対する理解を深める食農教育の推進と農業振興を進めます

「食」とそれを支える「農」に対する理解を深めるため、体験を通じて学ぶ食農教育を推進しています。幼稚園や保育施設・小中学校での取組や、地域で行われる農業体験や生産者と消費者の交流活動などを支援しています。

また、地場農産物の朝市・直売所や量販店での販売、学校給食・飲食店等での活用、地産地消を推進することにより、消費者が身近な農産物を食べる機会等を通じて農業への理解を深め、消費面から農業の振興につなげていきます。

○ 農業経営課

食と農の理解を深める食育の推進と、優れた農業経営体や新たな農業の担い手育成に取り組みます

食農教育や地域の食文化、農業の理解促進に積極的に取り組んでいる女性農業者団体を支援します。

農業者の高齢化が進むなか、産地を維持・拡大するためには青年農業者等の育成が急務であることから、就農希望者のニーズに応じた段階別の就農支援研修の実施と合わせ、市町村、農協等と連携し、相談から就農定着までを一元的に支援する体制づくりを進めます。

○ 農産園芸課

安全・安心で環境にやさしい農産物の生産供給体制の整備を推進します

消費者に、安全・安心で環境にやさしい農産物を安定的に提供するため、農業者等によるぎふ清流GAP農産物の生産販売、PR活動等の取組を支援します。

また、農産物の安定供給が図られるよう産地の構造改革に繋がる多様な担い手づくり、売れるブランドづくり、住みよい農村づくりに向けて必要な機械・施設等の導入を支援し、農産物の生産拡大とともに、未来につながる農業・農村づくりを推進します。

○ 畜産振興課

いのち(家畜)を介した食への理解を醸成します

家畜は、人が食料として利用できないものを食べ、人に豊かな栄養を与えてくれる生き物として、昔から飼われてきました。家畜を飼うことが畜産という産業になった現在では、効率性が重視され、人が食べられる穀類を餌として与えていますが、家畜の命を介して食料を得ていることに変わりはありません。畜産振興課では、いろいろな機会に家畜とのふれあいを通じて畜産への理解を醸成していきたいと考えています。

○ 農村振興課

都市と農村の交流による農山村の活性化を図るとともに、農業・農村の役割の理解促進を進めます

本県の変化に富んだ魅力的な自然環境と、そこで営まれる農林漁業を一体的に地域資源ととらえる、グリーンツーリズムを地域実践団体等と連携して推進します。

また、「洪水や土砂崩れを防ぐ」「多様な生き物が生息する豊かな自然環境を育む」など、私たちの生活に大きくかわる農業・農村の役割や重要性について理解の促進を図ります。

○ 里川・水産振興課

世界農業遺産「清流長良川の鮎」についての理解を深めます

平成27年12月15日に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことを受け、「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・活用・継承に取り組んでいます。

清流長良川あゆパークでは、来場者に各種体験を通して、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や「長良川システム」の意義をPRするとともに、清流の象徴である県魚「鮎」に対する関心を高めていきます。

○ 農地整備課

県民の食を支える生産基盤の整備を推進します

農業の担い手への農地の集積・集約化など、生産コストの削減を図る生産基盤の整備を推進し、農業の持続的発展を目指します。

平坦地域では、農業生産性の一層の向上を図り、高収益作物へ転換するための基盤整備を実施します。

中山間地域では、地域の特性を生かした農業を推進するため、地域の実情に応じたきめ細かい基盤整備を実施します。

5) 林政部

○ 県産材流通課

特用林産物(きのこ類等)に対する理解を深め、消費拡大を推進します

きのこ類の効用や栽培方法について、様々な機会を通じて情報提供やPR活動を行い、消費者のきのこ類への理解を深めます。

また、大都市圏での消費宣伝活動の実施やきのこ類の調理レシピの発信に対し支援を行い、県産きのこ類の消費拡大につなげていきます。

6) 教育委員会

○ 高校教育課・義務教育課

学校現場における食育推進のための教職員配置に努めます

栄養教諭の任用、栄養教諭及び学校栄養職員の兼務等により、全学校に食育を指導できる教職員を配置し、学校現場における食育推進に努めています。

○ 教育研修課

食育を実践的に推進できる指導者の養成に努めます

教職員研修を実施し、食育を実践的に推進できる指導者を養成することで、子どもたちへの食育推進に努めています。

○ 体育健康課

生涯にわたって、健康で生き生きとした生活を送る児童生徒を育みます

子どもたちの食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校、家庭、地域と連携した地域ぐるみの食育推進体制を整備するとともに、幼・小・中・高が連携した食に関する指導の充実を図ります。

○ GIFU食のマイスタープロジェクト事業

県内全ての公立小学校6年生を「家庭の食育マイスター」として委嘱し、児童が学校で学んだ食に関する知識と技術を家庭で実践するとともに、児童を中心とした家庭内の食育の普及を推進します。また、公立小学校4年生を対象として、食の楽しさや大切さを学ぶ「味覚の授業」を実施します。

県内公立中学校生徒を対象に、地域の食材を生かした学校給食の献立を立案することにより、栄養バランスのよい食事の考え方や調理方法を学ぶ「中学生学校給食選手権」を開催します。

ライフスタイルに応じた健全な食生活を切り拓く力を育成するために、様々な分野の食の専門家を希望する公立高等学校に派遣し、卒業後の自立に向けた「高校生食育リーダー」を育成します。

○ 栄養教諭研修の実施

学校における食育推進の要として、「食に関する指導の手引き」や「第4次岐阜県食育推進基本計画」に基づき、家庭や地域との連携を図るコーディネーターとしての役割を果たすための資質・指導力の向上を図ります。

栄養教諭等による食に関する指導の全体計画及び年間計画の整備や、学校給食を生きた教材として活用した指導及び個別指導の充実を図ります。

栄養教諭を中核とした食育推進校を指定し、栄養教諭を食育推進の中核に、学校・家庭・地域の連携による食育を推進し、取組の成果を県内に広め、県全体の食育の充実を図ります。

2 関係団体

○ 保育研究協議会

食を営む力の基礎を培い、心身の健全な育成を目指します

各保育所、認定こども園等において「食育年間計画」を作成し、

○ まず野菜！給食に多種多様の野菜を取り入れています。

○ 食材を4つの仲間(げんきっず)に分けて、体にとって大切なことを知らせます。

○ 先生や友達とおいしく楽しく食べる経験を通して、人間関係を深めます。

○ 野菜を育てたり、収穫したりする体験を通して、命を大切にする力を養います。

○ クッキングを通して、自然の恵みとしての食材や食の循環・環境の意識、調理する人への感謝の気持ちが育つように配慮しています。

○ 岐阜県幼稚園教育研究協議会

楽しく食べ、元気に遊ぶ子になろう

幼稚園において、健やかな心と体の発達を促すために次の内容に取り組んでいます。

○ 食育についての各園年間計画の作成

○ 家庭への啓発

○ 各園にて食育の実践

○ 幼稚園教育研究協議会の研究テーマとして「望ましい食習慣が身につく環境構成のあり方」を掲げ、研究を推進

○ 各地域の園長会・教員の自主研修において食育の講師を招き、研修を実施

○ 岐阜県小中学校長会

子どもたち一人一人が「健全な食生活」の大切さを知り、望ましい食習慣を身につけるよう計画的な実践を充実します

自分の健康に関心をもち、主体的に「食」に関わることでできる子どもの育成

○ 学校における「食」に関する計画的な指導の充実

○ 家庭への「望ましい食生活」に関する啓発・実践

<学校>

- 全体計画や年間指導計画に基づく着実な実践
- 給食全般に関わる内容についての指導の徹底
- 食農教育の充実
- 実態把握→指導・評価→改善のサイクルの充実 <家庭>
- アンケート等による実態把握→指導・評価→改善のサイクルの充実
- 子どもに応じた指導の充実
- 子どもと一緒に作る食事づくりの実践

<家庭>

- アンケート等による実態把握→指導・評価→改善のサイクルの充実
- 子どもに応じた指導の充実
- 子どもと一緒に作る食事づくりの実践

○ 岐阜県高等学校長協会

高等学校・特別支援学校の食育を推進します

生徒の食生活等の生活習慣や心身の健康状況を的確に把握し、食育を推進します。

- 基本的生活習慣の確立・指導とともに、根気よく継続的に食育指導を行います。
- 学校から、家庭(親)・地域への情報提供の充実を図ります。
- 教職員全体の食育に対する意識の高揚と取組の強化を図り、教科等を通じての指導体制を確立します。
- 高等学校における食育指導者育成を積極的に行います。

○ 岐阜県PTA連合会

岐阜県PTA連合会子育て委員会を中心に運動を推進していきます

○岐阜県学校給食会主催の「ふれあい給食教室」に親子で参加し、調理をすることを通して、学校給食に関する正しい知識・理解を図るとともに、料理の楽しさや食の重要性を体感する機会とします。また、地産地消などを推進することで、地域社会における食生活の改善につながることを願っています。

○ 岐阜県学校栄養士会

児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ることができる食育の推進を図ります

食事の大切さや喜び、楽しさを理解し、心身の成長や健康のために望ましい食習慣を実践できる児童生徒の育成

- 学校での全体計画に基づく食に関する指導の実践
- 望ましい食習慣の実践に向けた学校、保護者、地域との連携
- 地場産物を活用した食文化や食料の生産等に関わる取組み
- 一人ひとりに寄り添った支援や相談指導の実践

○ 岐阜県農業協同組合中央会

「食」と「農」を結びJA食農教育活動を県民に広めます

- JA食農リーダーを養成し小学校等で大豆の栽培・加工(調理)実習の支援を行う食農教育を県内各地で展開しています。
- 学校給食において、安全・安心な地元農産物の活用を支援し、幼少期から岐阜県産農畜産物に愛着を持つよう啓発しています。
- 食と農業に関するイベントを実施し、消費者に対して「食」と「農」への理解促進を図っています。
- 岐阜県内の農産物直売所の周知及び地元農畜産物の消費拡大を目的としたキャンペーンを通じて岐阜県の農畜産物の魅力を情報発信し、地産地消を促進していきます。

○ 岐阜県女性農業経営アドバイザーいきいきネットワーク

岐阜県の農業をもっと知ってもらおう！

- 安心・安全な地域内の農産物を使った農産加工や料理教室を開催することで、子どもたち(保護者の方)との交流を深め、地元の食材や岐阜県の農業について関心を持ってもらえるような活動を実施しています。
- 農作業体験学習は、おもに小中学生や高校生を対象とし、実際に自分たちで農作業を体験することで、農作業の大変さや食べ物大切さを学んでもらい、農業の継承につなげています。
- 消費者と生産者との交流会や勉強会を通して、多くの方に農業に対する理解を深めてもらっています。
- 食育活動では、おもに幼稚園児や小学生を対象とし、農業と食のつながりに対する理解を深めてもらっています。

○ 一般社団法人岐阜県医師会

食と健康をテーマに、学校医活動、県民健康セミナー、関係団体の行事などに協力した食育啓発活動に取り組みます

正しい食生活は、生活習慣病の発症予防・進展予防につながります。小児期からの食習慣の重要性をみなさんにご理解いただき、家庭においても学校においても、職場においても、生活リズムを整え、バランスのとれた食事を自ら考え、選択していけるような知識と実践能力をつけることが大切です。そのためには日常生活でも常に食生活に関心を持っていただきたいと思います。

食生活の偏りとメタボリック症候群・糖尿病・高血圧・高脂血症などの関連について、学校・職場・地域での啓発活動及び日常臨床での生活指導に力を入れています。関連団体にも協力させていただいています。

○ 公益社団法人岐阜県歯科医師会

「食育は歯の健康から」をテーマに、子どもから高齢者まで歯と口の健康づくりを通じた食育を支援します

食物をよく噛むことが全身の健康づくり・健康維持に直結することから、生涯を通して自分の歯でよく噛むことができるよう、歯や口の健康維持のために食生活や生活習慣を見直すことが大切です。

健康寿命の延伸に向け、①小児期においては、歯・口腔機能の発達状況に応じた支援、②成人期においては、食べる速さ等の食べ方に着目した支援、③高齢期においては、オーラルフレイルの予防や口腔機能の低下による低栄養の防止、誤嚥・窒息の防止のための支援など、各ライフステージに応じた支援が必要とされていることから、関係機関、関係団体等様々な関係者が主体的かつ多様な連携・協働に向けて取組を展開しています。

○ 公益社団法人岐阜県栄養士会

幅広い職域(保健所、保健センター、学校、病院、福祉施設、企業、地域活動)の専門性を生かし、食や栄養に関する情報提供と、ライフステージに対応した食育、栄養の指導に取り組みます

私たちの体は、食物の栄養素によって作られています。何を、どれ位、どのように食べるかは、健康寿命の延伸に大きく影響します。食と栄養の専門である管理栄養士・栄養士は、乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に、食べることの意味を理解し、栄養状態を良くするためのバランスのとれた適正な食事や、望ましい食生活が実践できる環境づくりの支援を行っています。県民が必要としている栄養に関する正しい知識、望ましい食習慣の理解、日常的に活かせる献立や調理方法など、きめ細やかな情報提供と具体性のある食育、栄養の指導を提供します。

○ 岐阜県市町村保健活動推進協議会栄養士部会

乳幼児から高齢者までライフステージに応じた食育活動を推進します

○妊産婦、乳幼児とその保護者を対象とした母子保健事業の中で、健康づくりの基礎となる望ましい食・生活習慣の確立ができるよう、栄養相談、栄養指導を実施します。

○成人を対象とした健診・保健指導において、生活習慣病の発症及び重症化予防をするために、栄養・食生活改善への支援をします。

○関係機関と連携し、地域における食育を推進します。

○ 岐阜県食生活改善推進員協議会

地域の食育ボランティアとして、気軽に声をかけあい、手軽にできる調理アドバイスにより、第4次岐阜県食育推進基本計画の目標達成に努めます

家庭・保育所・学校・団体・企業・行政と連携し、各地域に出向いて、県民のライフステージに合った食育活動に取り組んでいます。

○朝食欠食児0%を目標に、保育所・幼稚園・小中高の学校で、朝食などの調理実習を行い、バランスよく食べることや望ましい生活習慣の普及に努めます。

○「食生活指針」や「食事バランスガイド」について、食事教育媒体も使用しながら、イベントや健康展で普及に努めます。

○食文化の伝承として、岐阜県の郷土料理を掘り起こし、レシピやリーフレット等を作成するなどして普及に努めます。

○野菜たっぷりレシピや郷土料理の調理の動画を作成し、YouTube配信等、若い世代に対する情報発信にも取り組んでいます。

○ 一般社団法人岐阜県調理師連合会

- 「味覚の授業」「調理師再教育事業」「こどものための愛情弁当コンテスト」を実施しています
- 保健所管理栄養士の講師をお招きして、「調理師再教育講習会」を開催し、地域の食育ニーズに応えられる調理師の育成に努めます。
 - 地元の県産品を使って、育ち盛りの子供に食べさせたいお弁当を作ろうという趣旨で、公益社団法人日本調理師会主催の「こどものための愛情弁当コンテスト」を実施します。
 - 味覚が一番発達する小学校4年生を対象に、五感を使い「五味(酢、塩、チョコレート、苦いチョコレート、かつおだし)」を味わうことの大切さを伝え、食の楽しさを体感する取組をします。

○ 全岐阜県生活協同組合連合会

幅広い年齢を対象に「食育」について活動し、交流を推進します

- 地域の食育や食にかかわる活動を、さまざまな交流を通じて広げていきます。
- “食と健康”について情報交流をすすめます。
- 食育をテーマに、行政や他団体との交流・連携を大切にします。
- オンラインを活用して組合員同士や生産者・メーカーと交流できる機会を増やします。

○ 岐阜県食品産業協議会

会員である食品加工の団体・事業者に対し食育に関する情報を提供し、食の安全性に関する理解を促進します

- 関係団体より得た、食の安全及び食育に関する様々な情報を会員に対し情報提供します。
- 情報提供を通し、食品加工業者である会員団体・事業者の食の安全への意識を高めることにより、食育の推進に貢献します。

○ 岐阜県卸売市場連合会

産地と消費地の交流会の実施等により、農水産物への関心度の向上と消費拡大を図ります

- 卸売市場内にて、市場内の買い手を対象に、産地と連携して、試食会を開催
- 小売店にて、一般消費者を対象に、産地と連携して、試食会を開催
- 夏休み親子市場見学会を小学生対象に毎年開催する他、学校からの市場見学の依頼にも対応
- 県民に対し食育の推進を高めるため、食の検定などを活用し、卸売市場の職員に食育推進者を養成したいと考えています。

○ 株式会社バローホールディングス

食と健康を通じて、地域社会へ貢献します

- スーパーマーケットバロー、Vドラッグ、ホームセンターバロー、スポーツクラブアクトスにて、食育や健康推進の啓蒙へ協力します。
- フードドライブポストを活用し、食ロスを削減する活動を推進します。
- 食育活動(減塩、カルシウムなど)を様々な団体と協力し、地域のお子様やご家族へ提供いたします。

○ 岐阜県大学保健管理研究会

大学生が自己管理能力を身につける健康増進教育の中で、食育に取り組みます

- 大学生の健康診断・健康指導の中で正しい食生活の指導に努めています。
- 大学生自らが生涯にわたる健康を管理する能力を身につけるための健康教育において、食育は重要な課題と考えています。
- 大学生向けの健康啓発冊子(食育を含む)を毎年作成し、新入生に配布しています。
- 大学生の健康増進教育にあたる医療専門職の資質向上に努めています。

○ 東海農政局

食料の生産から消費にわたる各段階を通じ、食や農林水産業への理解を深める活動や、消費者に健全な食生活の実践を促す取組を推進しています

- お米を中心とした日本型食生活の実践、朝ごはんの大切さを伝える講座を実施しています。
- 「第4次食育推進基本計画」に基づいて、食育の総合的な促進を図るために取り組むべき施策等の提示、日本型食生活の推進、食事バランスガイドの周知等を図るため出向展示を実施しています。
- 東海地域で食育活動を実践されている企業・団体・個人の方々から、実践者ならではの食育推進につながる情報を対談にて伺い、YouTube動画でお知らせしています。
- 食育関係者を対象としてその功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、農林水産省において表彰を行います。